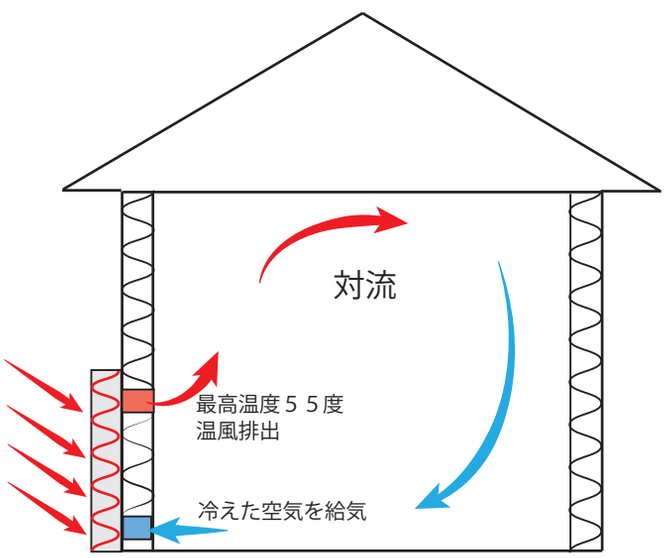
ソーラー温風ヒータ「あったか」の効果
Solar Hot Air Heater

●昔の日本住宅は開口部が広く、冬は日差しがいっぱい入り、暖を取る事ができた。
ところが、断熱性が無いため日差しが去ると寒い世界に舞い戻り忍耐の世界に！
現在の高気密・高断熱住宅では、壁面に日射があっても室内に熱は伝わらない



●高気密・高断熱住宅は開口部を少なくし、放熱や屋外からの熱の影響を受けない魔法瓶のような住宅設計になっている。
この様な住宅に「ソーラー温風ヒーター」を取り付けると、開口部わずか 100Φmm の穴を２か所開けるだけで、約１㎡の集熱体に集めた熱を室内に搬送し、室内を昇温する事が可能。
魔法瓶住宅に取り込まれた熱は、夜間まで室内を保温することができる。
結果として、主暖房器の稼動を減らし、暖房費の削減につながる。
電気、ガス、石油を全く使わず、太陽光の有効活用で暖房効果を生む補助暖房装置「ソーラー温風ヒータあったか」

●集熱体本体は高断熱で、取り込んだ熱は逃さず、冷気を暖め室内に放出。
夜間、屋外の冷気は集熱体の断熱性能のおかげで、室内に伝わる事はない。

㈱ソーラー・カンキ社（C）